

# 地震に強い水道へ

大地震が起こり、水道管や施設が壊れ、水道水の供給ができません。皆さんの生活に大きな影響を与えてしまいます。平成23年3月に起きた東日本大震災では、水道管などが壊れ、多くの場所で断水が発生し、たくさんの方々が、飲み水をはじめトイレやお風呂などの生活用水も使えなくなりました。

水道局では、大きな地震が起こっても、水道管や水道施設の被害を少なくし、皆さんの生活への影響を最小限に抑えられるよう、対策を行っています。水道工事では、道路の掘削などに伴う交通規制や、騒音などでご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 配水管の耐震化

浄水場から各家庭に水道水を届けるために、道路の下の地中には配水管が通っています。大規模な地震での地盤の揺れにより、地中の配水管が破損し、水が送れなくなることがないように、地震に強い「耐震管」への取り替えをすすめており、避難所などの重要施設へつながるルートを優先的に整備しています（「耐震ネットワーク工事」）。また、市内全域においても、古くなった管を新しい管に取り替えるときや、新たに管を埋めるときに、耐震管を採用しています。将来的には、市内全域において、耐震管での整備を目指しています。



<配水管の埋設工事の様子>

### つくちゃん

## 水道局 突撃インタビュー

「耐震ネットワーク工事」っていったいなんだろう？



「耐震ネットワーク工事」って、いったいどんなことをしているの？

大きな地震が起こった時に、地震の揺れで地中の配水管が壊れてしまうと、みんなの家に水が送れなくなってしまうんだ。

いざという時に備えて、たくさんの方が集まる避難所、重要な拠点となる救急病院などの、災害時に特に水が必要となるような施設につながる管を、優先的に地震に強い「耐震管」に取り替える工事をしてるんだよ。

どうして耐震管は地震に強いのか？

配水管は、浄水場からいくつもの管をつないで、みんなの家まで通じているんだけど、大地震で地盤が揺れると、つなぎ目がはずれてしまったり、壊れてしまったりたりして、そこから水がどんどん漏れてしまうことがあるんだ。

耐震管は、管のつなぎ目が伸び縮みする仕組みになっていることで、地震で地盤が揺れても、その揺れに対応するから管のつなぎ目がはずれにくく、壊れにくくなっているんだよ。

福岡や東北で起こった地震の時も、耐震管を使っている場所では水が漏れたりする被害がなかったんだよ。へえ！すごいな。耐震管にしたら、安心だな。「耐震ネットワーク工事」はいつ完成するの？

現在の工事は、平成36年度までに247か所の施設への整備完成を目標としているよ。それ以外の場所はどうするの？

工事には、どうしても時間がかかってしまうから、優先順位をつけて、工事を進めているんだ。だけど、将来的には市内全域を耐震管で整備して、どんなときでも、みんなの家に確実に水を配れる、地震に強い水道を目指しているよ！



<耐震管の吊り上げ実験の様子>

こんなに曲がってもつなぎ目がはずれないんだね



【事業調整課】 ☎483-3145 FAX436-7841  
メール jigyo.WB@city.fukuoka.lg.jp

## 家庭での備え

3リットル × 3日分 = 9リットル /1人

人は1日に最低3Lの水が必要です。ご家庭でも、ペットボトルなど、3日分(1人9L)を目安に備蓄があると安心です。

### ○水道水をくみ置きする場合

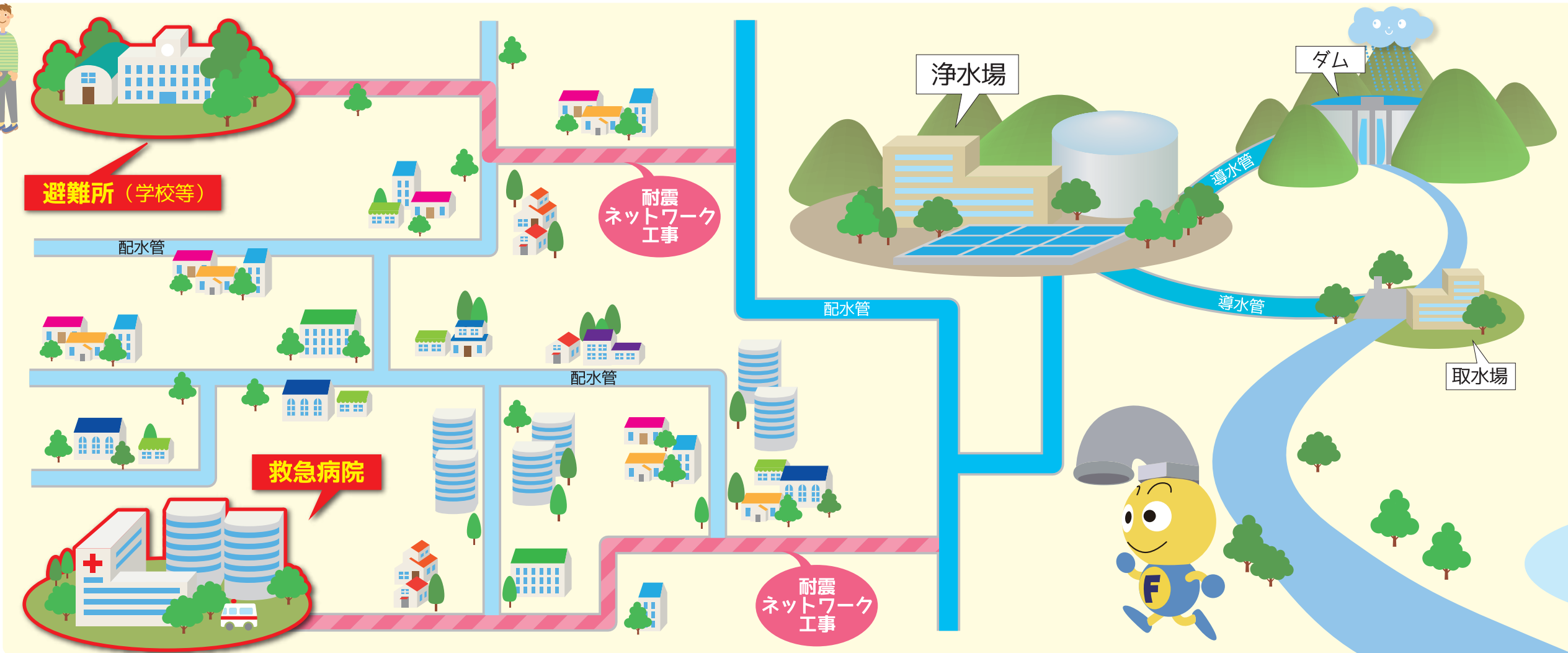
清潔でフタのできる容器に、保存してください。保存中に水が空気に触れないよう、容器の口元いっぱいまで水をいれてください。(空気に触れないことで、空気内の細菌に汚染されることを防ぎます。)

清潔でフタのできる容器は、給水車などから給水を受ける際にも役立ちます。

### ○保存期間

直射日光のあたらない、涼しい場所で保管することで、3日程度は飲み水として使用することができます。(浄水器をとおした水は、塩素による消毒効果がないため、毎日くみ替えてください)また、くみ替えた水は、掃除や洗濯にご使用ください。

【総務課】 ☎483-3104 FAX482-1376  
メール somu.WB@city.fukuoka.lg.jp



## 水道局の備え

～いざという時に備えて～

水道局では、災害時でも迅速な応急給水・応急復旧ができるよう、災害を想定した訓練を行っています。

### ■応急復旧

被災し、壊れてしまった水道管や水道施設などを、早期に復旧し、機能を回復します。また、復旧に必要な水道施設の管理図面や必要な資材を、有効に活用できるよう、市内に分散して保有しています。



<応急復旧訓練の様子>

### ■応急給水

断水が起こった際に、避難所や病院施設等で、給水車や応急給水栓を用いて給水を行います。また、福岡市だけでは難しい場合は、他の都市から応援・協力を得て給水を行う体制を整えています。



<応急給水栓から給水を受けている様子>

水を補給した給水車(消火栓)からホースを伝い、応急給水栓から給水を受けることができます。

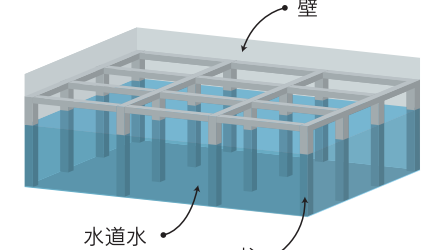


【事業調整課】 ☎483-3184 FAX436-7841 メール jigyo.WB@city.fukuoka.lg.jp

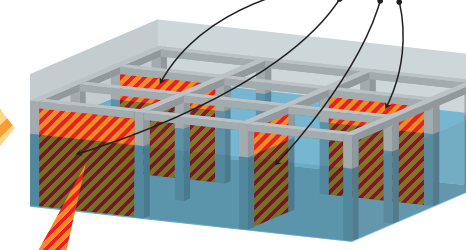
## 施設の耐震化

川やダムの水をきれいにし、水道水をつくる浄水場や、その水を貯めておく配水池が壊れてしまうと、大規模な断水につながります。地震に強い施設となるよう、コンクリートで耐震壁を設けて補強したり、新しい施設に造りかえたりしています。

<耐震化前の配水池>



<耐震化後の配水池>



コンクリートの壁で、耐震性向上!



<新しい配水池の工事の様子>

【浄水施設課】 ☎483-3166 FAX483-3305 メール josui.WB@city.fukuoka.lg.jp